

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I 法人の概況

1. 設立年月日 平成21年6月1日

2. 定款に定める目的

本社团法人は、文化財保護に携わる民間調査組織として必要な技術の研鑽、向上を図り、もってわが国文化芸術の振興に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- 1) 文化財保護に関する知識の教授
- 2) 文化財保護に関する技術力向上のための研修会・講習会の開催
- 3) 発掘調査技術者の資格検定試験の実施および資格の認定
- 4) 文化財保護に関するセミナーの企画・運営又は開催
- 5) 文化財保護にかかる図書および記録の閲覧、書籍の制作、電子出版物の提供
- 6) 文化財保護に関する国内外の団体等との連絡協調
- 7) 講習テキスト、試験問題集、会員名簿ほか図書の出版販売
- 8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府

5. 令和3年3月31日現在の会員数

種 類	当期末	前期末比増減
普通会員	82 社	±0 社
賛助会員	6 社	±0 社
合計	88 社	±0 社

6. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区日本橋富沢町 10-13-301

7. 令和3年3月31日現在の役員

役 職	氏 名	現 職
理事長	長谷川 渉	(株)武蔵文化財研究所 代表取締役
副理事長	橋本眞紀夫	パリノ・サーヴェイ(株) 顧問
専務理事	西城 修	国際航業(株)
常務理事	黒木隆史	日本海航測(株) 代表取締役社長
	河合英夫	(株)玉川文化財研究所 専務取締役
	平井 貢	(株)シン技術コンサル 常務取締役
	山口 寛	ナカシャクリエイテブ(株) 代表取締役社長
理事	河野一也	関東文化財振興会(株) 埋蔵文化財調査部長
	森 允	(株)イビソク 代表取締役社長

理事	安部清美	扇精光コンサルタンツ(株) 代表取締役社長
	板野伸彦	大成エンジニアリング(株) 取締役
	岩立二郎	(株)島田組 代表取締役社長
	加藤成樹	加藤建設(株) 代表取締役
	日沖剛史	(有)毛野考古学研究所 代表取締役
	濱出正	(株)パスコ 執行役員東日本事業部長
監事	山内伸治	(株)四門 取締役専務執行役員

8. 令和3年3月31日現在の職員

職員数 2名（常勤2名、うち1名は出向者）

II 事業の概要

1. 事業の実施状況

令和2年度はコロナ禍の影響がありましたが、事業計画書に基づき、次の事業を実施いたしました。

1) 総務委員会（委員長 橋本真紀夫）

今期の埋蔵文化財調査士の資格認定試験を11月7日に実施し、行政経験者2名、埋蔵文化財調査士補からの受験者7名が合格しました。埋蔵文化財調査士補の指定講習会を9月25～26日の2日間で全10講座を受講（オンライン）した後、10月24日に資格認定試験を実施し、受験者15名合格しました。

CPD委員会は、9月と11月に埋蔵文化財調査士・士補から申請されたCPDのポイント集計と認定作業を行いました。9月集計では114名（調査士86名、調査士補28名）から648件の申請がありました。11月集計では33名（調査士27名、調査士補6名）から212件の申請があり、CPDポイントの付与を行いました。

2) 技術研修委員会（委員長 河合英夫）

今期の技術研修会は、埋蔵文化財の三次元計測の実践に向けてと題して、オンライン方式により12月13日に開催し、85名が受講しました。

また、会員会社の考古学の基礎的な技術や方法論に基づいた、調査から報告書の内容を含めて調査力の向上や質の確保を図るため、会員会社が作成した調査報告書を審査して優秀なものを顕彰する表彰制度に基づき、第8回優秀調査報告書審査会を開催し、1社を最優秀調査報告書、3社を優秀調査報告書に選定するとともに受賞者に賞状を授与しました。

さらに、編集部会では考古学専門誌の埋蔵文化財に関する特集号に掲載する「日本考古学における発掘調査と報告書のむかし・いま」をテーマに企画し、座談会を開催して編集を行いました。

3) 考古検定検討委員会（委員長 長谷川渉）

今期は図形を取り入れた問題を作成し、第12回考古検定を11月14日～23日の期間で、入門・初級・中級・上級・最上級の5クラスで実施、受験者の増となりました。今後も受験者のアンケートを精査し受験者の満足度の高い検定となるよう取り組んでおります。

4) 事業委員会（委員長 黒木隆史）

今期は10月に文化庁を訪問し、当協会の概要・歩み・取り組みをご紹介しつつ埋蔵文化財行政資格と民間調査組織（民間資格）ならびに埋蔵文化財の保存及び活用に関する課題等について意見交換を行いました。

また、会員の情報交換や協会活動を充実させることで、各地で抱える諸課題に対し速やかに対処することを目指した支部設立の提案を行い、協議・決議を経て設立することになりました。

5) 広報委員会（委員長 山口 寛）

今期は7月に令和2年度埋蔵文化財調査要覧の企画・編集を行い、8月に協会活動報告を掲載している会報「飛天」ならびに公益社団法人設立10周年記念特集号「歩みと展望」を発行しました。

6) 復興支援対策室（室長 平井 貢）

前期に引き続き震災の被災地の自立を目指す一助となるよう、官民連携した発掘調査の支援を通じて東日本大震災の復興に、さらに、何時でも何処でも起こりえる激甚災害ならびに国家プロジェクト等への支援活動に協力をしてまいります。

2. 当期の重要な契約

なし

3. 令和2年度会議等一覧

4月	15日	理事会
	17日	優秀調査報告書審査会（書面/第三者審査会）
5月	15日	定時社員総会
	21日	理事会（書面）
7月	7日	考古検定検討委員会
8月	7日	編集部会（座談会）
9月	19日	CPD委員会
	25～26日	埋蔵文化財調査士補 指定講習会（オンライン方式）
10月	8日	試験管理委員会（書面/第三者委員会）
	9日	考古検定検討委員会（ハイブリット方式）
	16日	常務理事会（ハイブリット方式）
	24日	埋蔵文化財調査士補 資格認定試験
11月	7日	埋蔵文化財調査士 資格認定試験
		試験管理委員会（合否判定会議/第三者委員会）
	12日	臨時常務理事会（ハイブリット方式）
	28日	CPD委員会（オンライン方式）
12月	9日	総務委員会
	10日	理事会（ハイブリット方式）
	13日	技術研修会（オンライン方式）

	23日	考古検定委員会（書面/第三者委員会）
1月	15日	支部設立準備会（ハイブリット方式）
2月	20日	編集部会（オンライン方式）
3月	12日	支部設立準備会（ハイブリット方式）
		常務理事会（ハイブリット方式）
	25日	理事会（ハイブリット方式）

以上